

2025 年 8 月

スーパーバイザーの皆様および
スーパーバイザーを目指しておられる皆様

立命館大学産業社会学部教授
研究代表者 岡田 まり

研究協力（試行研修への参加）のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より私たちの研究活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、今年度も福祉現場におけるスーパービジョンの普及をめざして、スーパーバイザー研修の試行とその評価を実施することになりました。つきましては、下記のとおり、研修にご参加いただき、内容や方法についてご意見をいただける方を募集いたします。ご多用のところ恐縮ではございますが、ぜひご協力賜りますようお願い申し上げます。 敬具

記

1. 研究の目的

スーパービジョンは、専門職の成長と良質なサービス提供を支えるものとして重要ですが、日本の福祉現場では、まだ十分に定着していないのが現状です。その背景の一つにスーパーバイザーの人材不足があります。そのため私たちは、福祉現場でのスーパービジョンの普及をめざし、多くの方々のご協力をいただきながら「社会福祉士のスーパーバイザー養成プログラムの開発と評価」（2015 年度～2018 年度）、「コンピテンシーに基づくスーパーバイザー養成プログラムのモデル構築」（2019 年度～2023 年度）に取り組んでまいりました。この間、職能団体でもスーパービジョン推進の取り組みを実施され、スーパーバイザー登録者は増えてきました。しかしながら、いまだに定期的にスーパービジョンが実施されている職場は多くありません。

国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)は効果的・倫理的な実践やスタッフの専門的な成長等を支えるものとして職場での定期的なスーパービジョンが重要だと示しています。そこで私たちは、昨年度より「ソーシャルマーケティングによるスーパービジョンの普及」(2024 年度～2028 年度)において、より効果的なスーパーバイザー研修のあり方を探るとともに、スーパービジョンが職場に定着するための具体的方策を明らかにすることを目指しています。

2. 研究に協力いただきたい方

社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員・相談支援専門員のいずれかの資格あるいはそれと同等以上の経験があり、福祉職として勤務している方（一時的に離職していても福祉現場に戻る意思をお持ちの方を含みます）で、次のアカイのいずれかに該当する方にご協力をお願い申し上げます。

- ア. スーパーバイザー経験があり、今後もスーパービジョンを行う予定のある方
- イ. スーパーバイザー経験はないが、職能団体が実施するスーパーバイザー研修を受講したことがあり、今後スーパーバイザーになる見込みのある方

3. ご協力いただきたい内容

ご協力いただきたいことは、以下のスーパーバイザー研修に参加し、研修後のフォーカス・グループ・インタビューで、①研修の運営・内容・方法等についてのご意見、②職場でのスーパービジョンの実情等についてお話いただくことです。

より実効性のあるプログラム開発のためには、研修参加者視点からのご助言が不可欠です。また、プログラム普及のためには、研修の企画運営担当者や講師・ファシリテーターの視点からのご意見も貴重です。どちらの視点からでも結構ですので、お気づきの点についてご教示ください。

また、職場でのスーパービジョン普及には、現場の実情を的確に捉え、課題と可能性を見出すことが求められます。本研究の成果公表時には参加者や組織が特定されないようにいたしますので、職場での実情についてお話いただけますと幸いです。なお、本研究への参加条件として、フォーカス・グループ・インタビューのなかでお聞きになった他者の職場に関する情報については、外部に漏らさないようお願い申し上げます。

研修は、以下のとおり、東京、福岡、京都で実施いたします。今年度の研修テーマは、「理論・モデルに基づくスーパービジョン」です。会場によって取り扱う理論・モデルは異なります。スーパーバイザー研修の前日に、研修で用いる理論・モデルに関する講座（理論講座）（無料）を開講します。スーパーバイザー研修に参加される方は、可能であれば理論講座にもご参加ください。スーパーバイザー研修だけ参加される場合は、該当の理論・モデルについて事前に確認されることをお勧めします。

各会場の定員は20名です。申込期限は各会場日程の5日前です。定員を超えるお申し込みがあった場合は、2日間参加者を優先し、申込順とさせていただきます。

※東京会場のみ、1日目と2日目で時間と場所が異なりますのでご注意ください。

（1）日時と場所

■東京 テーマ：システム理論、認知行動理論、社会学習理論に基づくスーパービジョン

①理論講座

日時 2025年9月20日(土) 12時30分～16時30分

場所 立命館大学 東京キャンパス 教室2

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階

[交通アクセス](#) | [東京キャンパス](#) | [学校法人 立命館](#)

②スーパーバイザー研修

日時 2025年9月21日(日) 10時～16時

場所 TKP 東京駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム8C

東京都中央区八重洲1-8-16 新槇町ビル 8階 教室2

アクセス <https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyoeki-central/access/>

■福岡 テーマ：エコロジカルモデル、ストレングスモデル、エンパワメント、ナラティブ
アプローチに基づくスーパービジョン

日時 ①理論講座 2025年10月18日(土) 13時～17時
②スーパーバイザー研修 2025年10月19日(日) 10時～16時

場所 久留米大学 御井キャンパス
福岡県久留米市御井町 1635
アクセス・キャンパス | 久留米大学 (kurume-u.ac.jp)

■京都 テーマ：バイオ・サイコ・ソーシャルモデル、危機介入、レジリエンス、
課題中心アプローチに基づくスーパービジョン

日時 ①理論講座 2025年12月20日(土) 13時～17時
②スーパーバイザー研修 2025年12月21日(日) 10時～16時

場所 立命館大学 朱雀キャンパス 中川会館 304
京都市中京区西ノ京朱雀町 1
朱雀キャンパス | アクセス | 立命館大学

■オンライン

オンライン研修については検討中です。もし、オンラインで開催することが決まりましたら、あらためてお知らせします。

(2) 当日の内容

①理論講座

1. 理論・モデルについての講義
2. アンケート

②研修

1. インフォームドコンセント
本研究についてご説明し、ご質問にお答えしたうえで、ご協力いただける方には研究協力同意書（当日お渡しします）にご署名いただきます。
2. スーパーバイザー研修
研修内容は、主として事例についてのグループ・ディスカッション、グループ発表、全体共有です。
3. アンケート
4. フォーカス・グループ・インタビュー
ア. 研修について良かったところと改善したほうがよいところについて
イ. 職場でのスーパービジョンについて

(3) データ収集

本研修を実施した証憑を残し、研修の運営や進行等について検討するために、会場内で写真撮影するとともに、固定のビデオカメラで会場での様子を録画します。また、研修の内容や方法、有用性を検証するために、各グループの机上に IC レコーダーを置いて会話を録音させていただきます。これらの録画・音声データについては、研修終了後に確認したあと、研究上必要と思われる部分だけ文章化してから消去しますので、外部に出ることはありません。演習中にご記入いただくワークシート（無記名で参加番号のみ記入）は分析のために回収いたします。ご希望であればご自身のワークシートのみ写真撮影していただいても結構です。

(4) その他

ア. 本研究についてお気づきのことがございましたら、後日でも電話、メール等でご連絡くださいますようお願いいたします。

イ. フォローアップやデータの確認のために、後日、連絡を差し上げるかもしれませんので、その際はよろしくお願いいたします。

4. 研究協力の同意と撤回

研究にご協力いただくかどうかは自由です。同意していただけない場合でも、何ら不利益を受けることはありません。また、同意していただいた場合でも、理由を問わず、いつでも同意を撤回し、参加を中断することができます。そのことにより何ら不利益を受けることはありません。

同意を撤回して参加を中断される場合は、口頭でも文書でも結構ですので、お申し出ください。その際、既に収集したデータについて、お申し出があれば破棄いたしますが、会場の様子を撮影した写真、動画、グループの音声データについては同意を撤回された方のデータのみ除外することができませんので、その点はご了承ください。

5. 研究に協力することにより期待される利益

研究に協力することにより、気づきや学び、他の参加者との交流が得られるかもしれません。研修後のフォーカス・グループ・インタビューまでご参加いただいた方には謝礼として 2,000 円分の金券（Quo カードもしくはアマゾンギフトカード）をお渡しします。2 日目の研修では、昼食のお弁当とお茶をご用意いたします（アレルギー対応等はできませんので、お弁当不要の場合は申込時にお知らせください）。現地会場までの交通費は自己負担とさせていただきますのでご了承ください。

6. 研究に協力することにより予測されるリスク、危険、心身に対する不快な状態や影響

研修への参加によって心身の疲労を感じる可能性があります。また、参加するなかで得られた気づきや他者の言動により不快な思いをされる可能性もあります。研修中には適宜休憩をとります。また、気になることがありましたら、いつでも研修スタッフにお知らせください。

7. 研究成果の公表の可能性

研究の成果は、学会発表や論文投稿により発表します。その際には、協力いただいた方や組織が特定できないようにしたうえで公表いたします。

8. 個人情報の取扱い

取得した個人情報は、研究目的以外には使用しません。個人情報は、研究代表者の責任の下で厳重に保管し、取り扱います。個人情報を保護するために、参加者のお名前は研究データから取り除き、符号に置き換えて管理いたします。データ分析のため、またデータの開示や廃棄のご希望にお応えするために符号とお名前の対応表を作成いたしますが、対応表は鍵のかかる棚にて厳重に保管します。音声データと録画データは、研究上必要なところを文書化した後で消去します。対応表と同意書を含む文書については研究終了後5年間保存の後、シュレッダーにかけて廃棄します。個人情報が含まれない電子データにつきましては、学会発表や論文発表後に事後の検証ができるように、また、状況の推移をみるために将来、同様の調査を行う可能性がありますので、保管いたします。

なお、対応表を廃棄した後は、データ開示や廃棄のご希望にはお応えできないこと、また、一度論文等にて発表されましたら、記載内容の修正はいたしかねることをご了承ください。

9. 研究に関する資金源

この研究は、令和6年度～令和10年度科学研究費助成事業 基盤研究（B）課題番号24K00348「ソーシャルマーケティングによるスーパービジョンの普及」の一環として実施するもので、日本学術振興会より助成金の交付を受けて実施します。また、研究班メンバーが所属する大学から支給される研究費も使用します。

10. 研究倫理

本研究は、「日本社会福祉学会研究倫理指針」を遵守し、立命館大学における人を対象とする研究倫理審査委員会の承認（衣笠-人-2024-69）を得て実施します。職能団体や認定社会福祉士認証・認定機構等の他の組織・機関とは独立して研究を実施します。

11. 研究班

この研究は次の研究者らによる共同研究です。

研究代表者 岡田 まり（立命館 大産業社会学部 教授）

研究分担者 野村 豊子（日本福祉大学 福祉社会開発研究所 研究フェロー）

研究分担者 片岡 靖子（久留米大学 文学部 教授）

研究分担者 潮谷 恵美（十文字学園女子大学 人間生活学部 教授）

12. 研究協力同意書

本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力くださる場合、対面で参加される方には、当日お渡しする「研究協力同意書」にご署名のうえ提出していただきますようお願い申し上げます。オンラインで参加される方には、メールでお送りした「研究協力同意書」に署名したもののPDFもしくは写真を研修当日にメールに添付してお送りいただきますようお願い申し上げます。

13. お問い合わせ先

立命館大学産業社会学部 岡田まり

〒603 - 8577 京都市北区等持院北町 56－ 1

E-mail: m-okada@ss.ritsumeai.ac.jp

電話：090-3275-7295

研究者の研究倫理等に関する問題が発生した場合は、立命館大学研究推進課
<email: k-rinri@st.ritsumeai.ac.jp>までご連絡ください。

以上

研究協力同意書

立命館大学産業社会学部教授

研究代表者 岡田まり殿

研究題目：「ソーシャルマーケティングによるスーパービジョンの普及」

令和 6 年度～令和 10 年度科学研究費助成事業 基盤研究 (B) 課題番号 24K00348

私は上記研究の実施にあたり、口頭および書面で説明を受け、質問する機会を得て、以下の項目について理解したうえで、この研究に協力することに同意します。

1. 研究目的
2. 研究の方法
3. 研究への協力は自由であり、いつでも中止できること
4. 同意の拒否や撤回、研究協力の中断をしても不利益は被らないこと
5. 疑問や質問が生じた場合には、担当者から説明がなされること
6. 個人情報保護されること
7. 研究で得られたデータは研究目的以外には使用されないこと
8. 研究成果は公表されるが、個人や組織を特定できるような情報は公開されないこと

日付 年 月 日

協力者氏名

説明者氏名